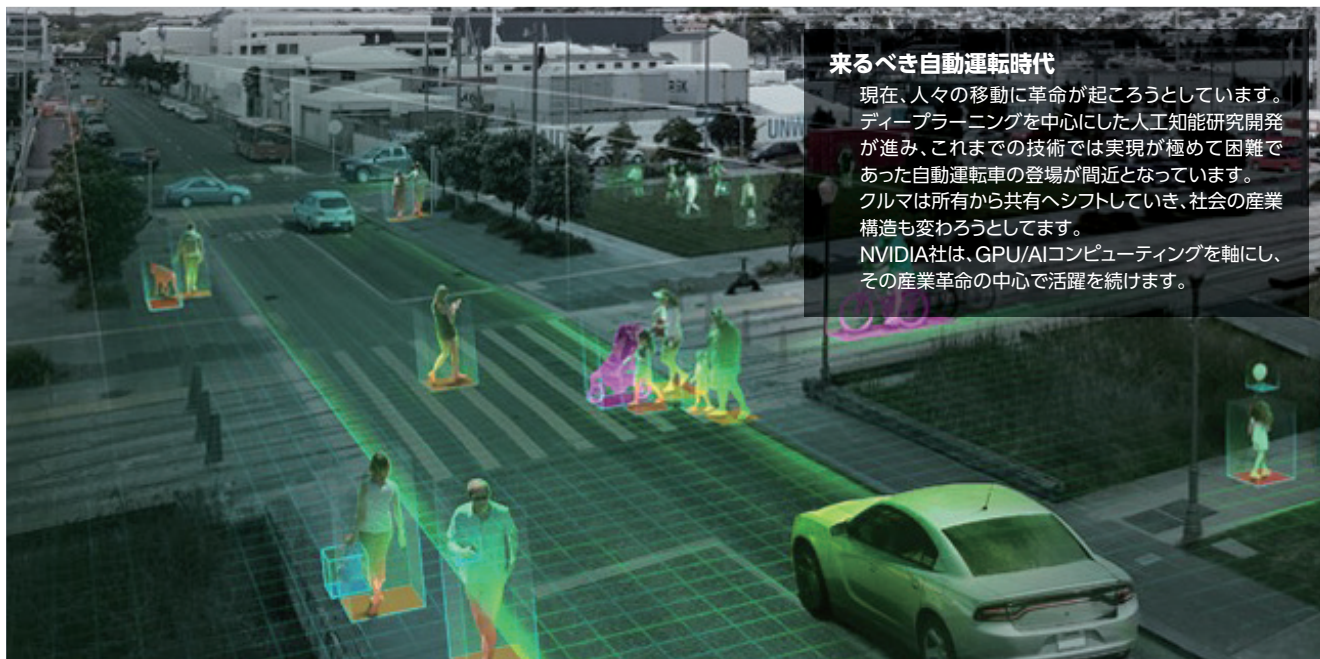


自動運転戦略 End to End システムソリューション



来るべき自動運転時代

現在、人々の移動に革命が起ころうとしています。ディープラーニングを中心とした人工知能研究開発が進み、これまでの技術では実現が極めて困難であった自動運転車の登場が間近となっています。クルマは所有から共有へシフトしていき、社会の産業構造も変わろうとしています。NVIDIA社は、GPU/AIコンピューティングを軸にし、その産業革命の中心で活躍を続けます。

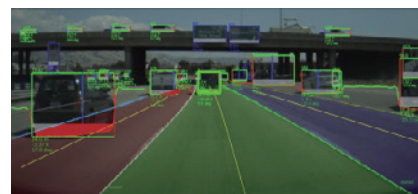
NVIDIA自動運転プラットフォーム“DRIVE”

NVIDIA社は、最先端のプロセスを使用したCPU、GPU/AI、アクセラレーター等を集積したAIエッジ用SoCを提供すると共に、自動運転レベルL2-L5まで、あらゆるセンサー構成に対応したOSからミドルウェア、アプリケーションまでの自走運転ソフトウェアスタックを合わせて提供します。また、ディープラーニングの開発において学習サーバー、各種の開発ツール、ライブラリーをパッケージングし、更に自動運転シミュレーション環境の開発も行い、End to Endの開発環境と、量産向けのソリューションを提供しております。

この最先端のプラットフォームを用いた自動運転開発は、日本国内の自動車OEM様、サプライヤー様、ソフトウェア開発会社様にて採用が広がっており、NVIDIA社のSoC及びソフトウェアを量産で採用する表明も相次いでおります。



DRIVE AGX Development Kit



DRIVE AV

NVIDIA End to Endプラットフォーム

データ収集	DGXでの学習	CGを使ったシミュレーション	DRIVE AVとハードウェア	DGXでのソフトウェア検証

自動運転開発には様々な要素のツール、ソフトウェア、ハードウェアの環境が必要です。NVIDIA社では、走行シーンデータ収集、ディープラーニングの学習サーバー、量産用のハードウェア、ソフトウェア更にあらゆるシーンをCGで生成するシミュレーション環境の用意を行い、お客様の開発をEnd to Endでサポートします。